

平成 29 年度第 1 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 29 年 4 月 25 日 (火) 18:30 ~ 19:30

【場 所】 厚田保健センター

【出席者】 10 名 (15 人中)

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会長	佐藤 勝彦	○	委員	小山 玲子	○	委員	中井 健太	
副会長	渡邊 教円	○	委員	今 光 江		委員	平賀 敏和	○
委員	大内 さつき	○	委員	坂本 悌生		委員	前田 和也	○
委員	大黒 利勝	○	委員	柴田 志寿子	○	委員	築田 敏彦	
委員	小笠原 英史	○	委員	柴田 肇	○	委員	吉田 美香	

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ~ 企画経済部商工労働観光課 中西課長・佐藤主査

支 所 ~ 西田支所長・小池主任社会福祉士

事務局 ~ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査・中村主任
(地域振興課)

【傍聴者】 2 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

(1) 今年度の協議会について

4. 報告事項

(1) 寄附金の使い道について

(2) あつたカンパニー・150 周年事業について

5. その他

(1) 平成 29 年度の新制度紹介 (結婚・空き家対策など)

1. 開会

【(厚) 地域振興課 高田課長】

皆さんお晩でございます。地域協議会を始める前に、今日は築田委員、今委員、坂本委員、中井委員、吉田委員の 5 名から欠席の連絡を受けておりますので、報告させていただきます。

それでは、第 1 回厚田区地域協議会を開催致します。佐藤会長、開会のご挨拶をお願いします。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

お晩でございます。

4 月に入って第 1 回目の地域協議会ということで、皆様とのお仕事も残すところ半年となりました。これまでの 1 年半で、色々なことを行ってきました。そういうことを踏まえながらこの 6 期で私たちは何をしたのかということをし少し振り返りながら、委員改選に向けて動いていくこととなりますので、よろしく申し上げます。それでは、リラックスタイムに移ります。

3. 協議事項

【佐藤会長】

それでは協議事項に入らせて頂きます。よろしくお願いします。

今年度の協議会について

【(厚)地域振興課 今田主査】

それでは協議事項に入らせて頂きます。まず始めに、厚田区地域協議会上半期(4月～9月)の方向性とスケジュールについて説明致します。

方向性については、これまでの活動結果の確認ということで、9月までの任期満了に向けて、これまでの活動を振り返り、第6期での成果を検証し今後の地域協議会の姿について、自治会や各種団体との連携、地域協議会の役割を改めて皆さんで協議し、そして第7期の委員構成や、開催回数などのイメージを練り上げていくことで、考えております。

この方針を基にしたスケジュールですが、今回の会議においてスケジュールの検討と、協議会の位置づけ、自治会との連携強化に向けた具体的な動きについて後ほど協議していただけたらと思います。次に、5月では各団体・自治会から取り組み紹介と意見交換を予定しています。6月では近説遠来の具体的な内容ということで目指すべき方向性の検討を目的に、道の駅、地域おこし協力隊、そして地域住民との関わりや、地域全体の課題について、協議していくことを予定しています。

次に7月と8月では、それまでに挙がってきた課題に基づいて第7期でやるべき内容について協議を予定しています。7期への引継ぎ事項、役割も含めてここで方向性を固められればと思っています。

そして9月では、これまでの内容について、引継ぎ事項を含めて皆さんで確認して頂くことを予定しています。

【佐藤会長】

ありがとうございます。

事務局から第6期の残り半年間のスケジュールについて説明を頂きました。協議会の位置づけについて資料の2ページ目を見て下さい。

確認の意味ですが、資料に4つの項目が循環している図が記載されています。これが地域自治区の役割。この自治区の循環の役割というのは、委員の皆さんが地域から上がってくる地域課題、これらを地域協議会の中で審議をしていく。ですから、まず左上の項目では意見やアイデアを発案する。すなわち、委員の方は地域からの課題を発案していく。それを議題として地域協議会で審議し、そして解決に必要な予算や人材などを検討し、自ら実行したり、行政などに提案したりとなります。

次の項目では自治区と行政が協働して、地域づくりをおこなうという循環であります。地域協議会がうまくいっているということは、循環がうまくいっているということ。やはりこの地域協議会は、自治区としてその役割を果たすということになれば、地域課題をこの委員の人になるべく持ってきて頂きたい。これは第1期からそういうことをずっと心がけて参りました。

今一度この図を確認して頂いて、何が自分の地域の課題なのかということ。ところが、どうしても委員は個人ですから、ここと地域と大きく関わってくるというのは町内会であり、自治会であります。従いまして自治連合会との連携強化に向けた具体的な動きを、今まで以上に具体的な実施が必要になってきます。ゆえに自治会や様々な団体との連携に向けて動き出すためには、なるべく地域協議会の委員が、地域に入って、地域の課題を吸い上げ、情報を得るという動きをしなければいけません。

ですからそういう意味では、その地域協議会の委員1人の責任ではなく、町内会や自治会の人々が意見を集約してくるために、あるいは意見を集約してきてもらうために、自治会との連携というのはもう少し強化しなければいけないだろうということで、そのためには何が必要かということが今後の議論の視点になると思います。

そういうことで今日はポイントが3点あります。

1点目はスケジュールの確認、2点目は地域自治区における協議と地域づくりのサイクルという4つの枠の循環の確認、そして3点目は自治会や団体と連携をしていく具体的政策を議論していきたい。

まずは確認と具体的な動きについて、議論の視点の方向性を示しました

次回からは、委員の皆さんからご意見を頂いて作り上げた、厚田の10年という資料を持参頂いて、各種団体、この地域協議会から7つの団体が生まれておりますが、この団体の取り組み状況が分かりますので、この資料を参考にしながら議論をしていきたいと思えます。

スケジュールや自治会、そして団体との連携ということでご説明しましたが、これに対してご意見など何かありますでしょうか。どうでしょうか。ご意見・質問ございませんか。具体的なご意見を頂くのは次回以降の協議会からとなります。様々な形での意見交換により、皆さんから忌憚無い意見を出して頂ければと思っておりますので、よろしくお願ひします。

4. 報告事項

【佐藤会長】

それでは報告事項に入らせて頂きます。よろしくお願ひします。

寄付金の使い道について

【(厚)地域振興課 高田課長】

先月古潭出身の方から市に対して200万円の寄付があった、という説明はさせて頂いたと思えます。その使途について、4月13日に厚田区自治連合会の役員会議にて協議し最終的に3つの使途が決まりましたので、その内容について報告させて頂きます。

1点目は、各施設の公共施設などかなり古くなってきているので、音響設備を一新しようということになりました。各地区のお祭りなどでも使えるように、屋外でも使える一式(スピーカーやアンプ一式)。それから室内用の持ち運びが可能なものを一式。

2点目は、地域の方々の高齢化が進んでいるため、特にイベントやお祭りの時に、テーブルやイスを出して設置しておりますが、重いため出し入れが大変だということで、軽くて出し入れが容易なものということで、ふるさと祭りの時のコココーラのものがありますよね?あのようなアルミ製のテーブルとイスを購入しようということで、数は確定ではありませんが、テーブルが約20台、イスが約80~100脚を検討しています。

そして3点目は、現在古潭地区では街灯のLED化を進めていますので、寄付を頂いた方が古潭出身ということで、寄付をして頂いた方の古潭のためという強い思いもありましたので、古潭地区については町内会負担分をこの寄付から出そうということで、金額にして20万円程度だと思のですが、町内会負担分に対して使わせてもらう形となりましたので、ご報告させて頂きます。予算につきましては一応6月で補正にて歳出の予算措置をして、自治連合会の補助金として充当することを予定しています。

【佐藤会長】

何かご質問などありますでしょうか。

無いようですので、次お願ひします。

(仮称) あつたカンパニー・開村150周年記念事業について

【(厚)地域振興課 今田主査】

(仮称) あつたカンパニーについては各自治連合会の会長さんに了解を頂いていることは、以前の協議会でも報告しておりますが、現在、カンパニー設立に向けた協議体のメンバー構成と、若い方から高齢者の方のニーズ把握を目的にしたアンケートの原案作成の準備を進めております。アンケート結果を分析し、地域課題の抽出と解決に向けた事業内容の絞込みなど、スケジュールも含めて大枠のイメージを作り、年内に公表していく予定であります。

続いて、来年度の開村150周年記念事業につきましては、こちらも各自治連合会の会長さんへの説明は済

んでおり、この事業は自治会を中心に実施していくということで、今後は各自治会からメンバーを出して頂き、来年度予算の策定時期が9月からなので、それまでを目途に具体的な内容を決めるといった見通しでおります。

【佐藤会長】

何かご質問などありますでしょうか。

【柴田(肇)委員】

厚田カンパニーについて以前説明があったと思いますが、概略でも構いませんので今一度目的や狙いの説明をして頂けますか。

【(厚)地域振興課 今田主査】

それでは簡単に説明させていただきます。

一つは近説遠来という厚田が目指すところの住民が喜び生活していれば、自然と区外から多くの人々が訪れ賑わう町の実現という方向性があります。合併後、色々な団体が地域協議会などの活動を通じて誕生しましたが、この先を考えていく中でいつまでも愛着ある厚田に住み続けたいと思う方が多いわけです。

年齢を重ねていって、子どもも巣立っていき、夫婦2人又は一人になっていき、いつまで厚田に住み続けられるだろうかという不安が出てきた時に、結果的に施設に入ったとか、厚田を離れなければいけない、という方が中には出てきます。このため、長年住み続けた厚田から離れないためにはどうしたらいいだろうか、自分たちにできることはなんだろうか、自分たちに必要なものはなんだろうかと考えた時に、地域で支えあう仕組み、まとめるための組織としての厚田カンパニーという提案をさせていただきました。

【柴田(肇)委員】

わかりました。

【佐藤会長】

何かご質問などありますでしょうか。150周年事業についてもよろしいですか。

【柴田(肇)委員】

開村150周年について、予算付けはどのようになりますか。

【(厚)地域振興課 高田課長】

この地域協議会が持っている地域振興基金の活用になるのでは、と思っております。

【佐藤会長】

何かご質問などありますでしょうか。
それでは、その他に移らせて頂きます。

5. その他

事務局より以下内容について報告

- (1) 石狩市の新制度である結婚支援と空き家活用について
- (2) 消防からの情報として3月以降「一人暮らしのお年寄りに防災グッズを無料配布している」など消防署を語る不振な電話について

【佐藤会長】

移住・定住促進事業は、平賀委員のお母様が以前委員をしていた時に空き家対策として是非やって欲しいという提案がありました。それから時間が経ちましたが、石狩市も本腰を入れて空き家対策を実施することになったようです。みなさんの近くでそういう方がいらっしゃいましたら、例えば結婚したいと言ったら厚田に来て、空き家をリフォームして住めるようにしたら100万、プラスカップル24万、最大で124万！

そういうことで是非ご紹介下さい。細かい条件もありますので、担当部署に連絡すれば説明がありますので、せつかく使える制度なので、後でわかって失敗したというのはもったいないので。空き家対策は人口対策にもなりますので、是非進めて頂きたいと思います。

消防署からの詐欺情報ですね。昔は消火器を売るのに来ていました。それで、消火器を高く売るんですね。オレオレ詐欺の変形バージョンなので、ご注意願えればと思います。

6. 次回会議などの日程について

平成29年5月25日（木曜日 みなくる）

7. 閉会

平成29年5月25日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 佐藤 勝彦